

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-43		作業センター事業				
主管課	作業センター	関連課	各部各課				
分野名	市街地整備、下水道・河川						
目標 (目標値)	道路、河川、緑地等の維持補修作業を行い、安全で快適な生活を送れるまちづくりをする。(要望処理率95%)						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	10,489	7,609	13,320			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	10,489	7,609	13,320			
	人員配置数	6.0	6.0	7.0			
	人件費(千円)	50,370	51,890	61,400			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	60,859	59,499	74,720			
	市民1人当りの経費(円)	344	337	423			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
要望処理率	△	目標値	95%	95%	95%	95%	97.50%
		実績値	89.40%	87.30%			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。											
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。											
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止											
作業センター事業	10,489千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	道路、河川、緑地等の維持補修作業													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	道路の経年劣化による補修要望の増加、技能労務職員の退職者不補充による減少と高齢化に伴い要望箇所処理率の低下が危惧される。
課題解決のための取組	班編成の一部入れ替えや、必要に応じた人員のやり繰りを行い、補修要望に対応した。
未解決の課題	未処理補修要望箇所の増加
今後の方針	委託事業費の拡充、民間委託化の推進
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ A ※ □事業完了 課長名 作業センター所長 坂巻龍馬

